

2025年度 日本語教育機関としての自己点検・自己評価

日本語教育機関名：アース外語学院

点検・評価実施日：2026年3月31日

実施責任者：早川 千寛

アース外語学院は、日本語教育機関の告示基準第1条第1項18号の規定に従い、当校の教育理念に基づき、適切な学校運営を行い、教育水準の向上に向け、自己点検、自己評価を行い、当校ホームページに掲載する。

5段階評価

【5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらとも言えない 2：取り組みを検討中 1：改善が必要】

• 教育理念・目標

(理念)

学生たちが本校で日本語を学ぶことを通して、母国と日本との文化・習慣・精神的風土の違いを理解し、大学院や大学、専門学校で得た知識を生かして自らの夢を実現できるように支援し、同時に母国と日本とのきずなになるような人材を育成する。

(教育目標)

- 1.向上心のある学生を募り、大学院・大学・専門学校で十分学ぼうとする高度な日本語力をつけ、日本語能力試験の上位合格を目標にする。
- 2.進学のための日本語教育に留まらず、日本の社会生活に役立つ実用的な日本語を教育する。
- 3.日本での生活を通じて、日本の文化、習慣、考え方などを理解し、広い視野と公平な判断力が持てるように指導する。

評価

- 【5】・理念・教育目標は定められているか
- 【5】・育成人材像は明確か
- 【5】・理念に基づく教育が行われているか
- 【5】・理念と教育目標が、職員・生徒に周知されているか

現状の取り組み/課題

- ・日本留学試験および、日本語能力試験対応の授業を、中級コースからカリキュラムに織り込み済み。
- ・日本社会に実際に触れ、日本で自立した生活を送るための社会見学、学校行事を実施し、多文化理解及び社会適応力の向上を図っている。
- ・母国にてN5レベルの学習をしてきた学生は、非漢字圏の学生ながら、入学後8か月でN3に合格するなど、教育理念・教育目標に基づいた指導成果が見られている。
- ・一方で、「漢字」「語彙力」に課題が見られる学生もいるため、学習負担とのバランスを考慮しながら、継続的な教材研究及び指導方法の改善を進めていく。

- 学校運営

評価

- 【5】・運営方針が明確化され、職員に周知されているか
- 【5】・運営組織や意思決定機能が確立され、効率化しているか
- 【5】・情報システム化等による業務の効率化が図られているか
- 【5】・経理規程が明確化であるか
- 【5】・人事・労務管理規程が定められているか

現状の取り組み/課題

- ・月2回ずつの教務会議、事務会議、運営会議で、運営方針及び学生情報の共有を行い、組織的な学校運営に努めている。
- ・Teams 及び LINE アプリを活用し、教職員間で迅速かつ円滑な情報共有・意思決定ができる体制を整備している。
- ・半期ごとの全教職員会議にて意見交換及び運営方針の確認を行い、教職員全体への周知徹底を図っている。
- ・情報管理システムを導入し、学生管理及び業務効率化を推進している。
- ・経理・労務管理規定が整備済みである。

- 財務

評価

- 【5】・中長期的に学校の財政基盤は安定しているか
- 【3】・予算・収支計画は有効かつ妥当か
- 【5】・会計検査が適切に行われているか

現状の取り組み/課題

- ・母体企業の財政基盤が安定しており、学校単体で見た場合の予算・収支計画も無理なく安定している。
- ・学生数も順調に増え、増員も認められ、海外からの評価もあがり、学生募集も順調である。
- ・母体企業の会計基盤を元に、適切な管理が行われている。

- 教職員

評価

- 【5】・校長、主任教員、教員は「日本語教育機関の運営に関する運営基準」で定められた要件に適合しているか
- 【5】・教育理念・教育目標が教員間で共有されているか
- 【5】・教育目標を達成するための取り組みがされているか
- 【5】・教職員の評価を行っているか

現状の取り組み/課題

- ・Teams 及び LINE アプリ、授業前打ち合わせを活用し、授業進度、学生状況、指導方針等について教職員間で継続的な情報共有を行っている。
- ・各教員が授業に対する改善、授業進度の調整を行っている。

- ・学生の指導方針において、意志統一を図り、対策を立て実践済み。
- ・当校での経験の浅い教員については教案チェック・授業見学を通じてレベルの向上を図っている。
- ・半期ごとに教務会を実施し、教育理念・教育目標の再確認に加え、教材研究、カリキュラム改善、クラス運営等について教職員全体で協議を行っている。
- ・学生アンケートによる授業評価を年1回実施し、結果を共有のうえ、授業改善に活用している。

- ・ 在留管理と生活指導

評価

- 【5】・生活指導責任者及び入管事務担当者が特定され、学生に周知されているか
- 【5】・入国・在留関係の管理・指導が適切に行われているか
- 【5】・学生が母国と日本の文化の違いを理解するための指導やアドバイスが行われているか
- 【5】・学生の出席状況の管理とフォロー体制が確立されているか
- 【5】・我が国の法令を遵守させる指導を行っているか

現状の取り組み/課題

- ・入国時は職員が空港まで出迎え、学生寮までの送迎と生活開始オリエンテーションを行っている。
- ・入学時及び長期休暇前等に、日本の法令、生活ルール、マナー等についてオリエンテーションを実施し、日本社会で安全かつ適切に生活できるよう支援している。
- ・日本語及び母国語で作成した掲示物を校内に設置し、継続的な注意喚起及び生活指導を行っている。
- ・欠席が続く学生については、生活指導担当者及び通訳を含めた面談・家庭訪問を実施し、早期対応及び継続的フォローに努めている。

- ・ 教育施設

評価

- 【5】・教室、その他の施設は、「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合しているか
- 【5】・全ての教室は照度、換気は十分に確保されているか
- 【5】・全ての教室は必要な遮音性が確保されているか

現状の取り組み/課題

- ・毎日、教職員が当番で、始業時及び終業前に、全ての教室、設備に異常がないか、確認を行っている。
- ・毎朝、必ず教職員が、各使用予定の教室をまわり授業前に十分な換気を行っている。
- ・定期的に外部専門業者に、安全設備点検を依頼し、実施済み。

- ・ 教育活動

評価

- 【5】・教育目標達成にむけた内容や進度であるか
- 【5】・カリキュラムは体系的に編成されているか
- 【5】・教育内容・方法について教員間で共有しているか
- 【5】・教育目標に適合した教材や機器が使用されているか
- 【5】・学習理解の到達度の確認はなされているか、成績評価は適切か

【5】・個別学習指導等の体制・指導が行われているか

【5】・日本語試験の認定率向上のための指導体制は確立されているか

現状の取り組み/課題

・学生の日本語能力及び学習進度に応じ、少人数であってもクラス分けを実施し、個々の到達目標に応じたきめ細かな指導を行っている。

・Teams 及び LINE アプリを活用し、授業進度、学習状況、生活面等について教員間で随時情報共有を行い、教育の質の維持・向上に努めている。

・全教室に ICT 機器（モニター・プロジェクター・PC）を設置活用し、教育効果向上に向けた授業環境整備を進めている。

・学生数増加に伴い、教員間での情報共有及び授業品質の平準化を継続的課題とし、教育体制の更なる強化に取り組んでいる。

- 学生支援

評価

【5】・住居やアルバイト等、学生の生活環境への支援・助言等が行われているか

【5】・学生の生活相談に関する体制は整備され、機能しているか

【5】・進路指導担当者が特定され、学生に周知されているか

【5】・進学・就職指導体制は整備され、機能しているか

【5】・健康診断を定期的に行っているか

【5】・学生の日常生活における心身の健康管理体制が整っているか

現状の取り組み/課題

・生活指導担当、進路指導担当、通訳が連携し、進学・生活・アルバイト等について個別面談を実施している。

・学生一人ひとりの進路希望や生活状況を踏まえ、進路指導担当者より学習継続及び将来設計に関する具体的な助言を行っている。

・健康診断を定期的を実施するとともに、感染症予防や健康管理に関する啓発活動を継続的に行っている。

・学生の登校時に体温測定、手指のアルコール消毒を行わせている。

- 学生の募集

評価

【5】・学生の受け入れ方針は定まっているか

【5】・方針は理念・教育目標に沿ったものか

【5】・募集計画を定めているか

【5】・募集活動は適切に行われているか。教育成果は正しく伝えられているか

【5】・定員設定・在籍数は適正か

【5】・入学選考は適正かつ公平な基準で行われているか

現状の取り組み/課題

- ・募集要項に、対象者、入学資格について、明確に受入れ方針を記載。
- ・向こう3年間の募集計画を定め、運営方針の確認と合わせて職員会議で共有を行っている。
- ・入学選考は、差別なく、適正かつ公平な基準で実施。

- ・ 教育の成果

評価

- 【5】・日本語能力試験、日本留学試験等の結果を把握しているか
- 【5】・進級、卒業判定が適切に行われているか
- 【5】・学生の卒業後の進路を把握しているか

現状の取り組み/課題

- ・主な試験は学校で取りまとめて出願し、結果についても把握している。
- ・個人毎の試験結果、成績、出席状況など、適切に評価。
- ・卒業後の進路を把握し、新しい環境への順応の聞き取りを行い、また進学先の教職員からも学生の様子を聞き取っている。

- ・ 法令順守

評価

- 【5】・法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 【5】・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 【5】・自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
- 【5】・自己点検・自己評価結果を公開しているか

現状の取り組み/課題

- ・教育、運営において遵法の精神を、謳うだけでなく、今後も継続して実践し、学生に対し模範となる機関として運営していく所存である。
- ・自己点検・自己評価を継続的に実施し HP 上に公開、改善点の共有及び教育活動・学校運営への反映を行っている。

- ・ 安全・危機管理

評価

- 【5】・対象となる学生全員が国民健康保険に加入している
- 【5】・感染症発生時の措置を定めている
- 【5】・防災用品が備蓄されている

現状の取り組み/課題

- ・入学時、学生全員の国民健康保険加入手続きを一緒に各役所窓口で実施。
- ・定期的に国民健康保険の期限切れがないか、確認。
- ・期限切れ及び、未納者がいた場合は、生活指導員と学生とが、一緒に各役所窓口へ行き、分割相談など、日本の社会ルールに沿った、指導を行っている。
- ・感染症発生及び、事故発生時に、緊急連絡体制を整備、管轄保健所の連絡先、病院相談連絡先を周知及

び揭示。

- 地域貢献・社会貢献

評価

【5】・日本語教育機関の資源や、施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動への支援、公開講座等の実施などの取り組みを行っているか。

現状の取り組み/課題

・長期休暇前の大掃除の時間を利用し、学校敷地内にとどまらず、近隣施設や近隣の清掃活動を行っている。

・社会貢献、地域貢献を目的として学校を解放し、地域の住民の方も自由に参加できる文化祭を行っている。地域の方々に日本語学校や留学生について知っていただき、また交流を通し、学生の自立と社会的存在としての意識が育てられた。

以上